

京都産業大学 総合生命科学部 バイオフィォーラム 2016

最先端の生命科学研究に触れてみませんか

バイオフィォーラム 1月11日(水) 開催

【開場】 13:15～

【開演】 13:30～15:00

【場所】 京都産業大学 15号館1階 15102 セミナー室

【講師】 江頭 宏昌 教授 山形大学 農学部 食料生命環境学科・植物機能開発学コース

【演題】 地域の在来作物をどう保存・継承するか

日本全国には種苗会社が育成した商業品種とは別に、地域で自家採種などによって受け継がれ生活に利用されてきた作物の在来品種がある。ここでは、さまざまな作物の在来品種を総称して在来作物と呼ぶことにする。それらは郷土料理や保存食の食材として利用され地域の食文化を担ってきた。またそれらは世代を超えて地域の歴史や物語、あるいは地域の風土を生かして生きる知恵を継承するメディアとしての役割を担ってきた。いわば在来作物は「生きた文化財」としての価値がある。さらに在来作物は遺伝的多様性に富むことから、将来の未知のニーズに応える新品種を生み出す遺伝資源としても保存していく価値がある。しかしながら、その生産性、流通効率、市場価値の低さから、農業現場では商業品種が主となり、次世代への継承が困難になっている。

本講義では、在来作物の現状を紹介するとともに、地域の財産ともいえる在来作物をどのようにして保存・継承していけばよいのか、全国の事例を紹介しながら考えてみたい。

□お問合せ□

京都市北区上賀茂本山

京都産業大学 総合生命科学部事務室 Tel.075-705-1466

世話人：山岸 博 教授 hiyamagi@cc.kyoto-su.ac.jp

□交 通□

※キャンパス内に駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

地下鉄「国際会館駅」下車→京都バス(40系統)で京都産業大学前下車

地下鉄「北大路駅」下車→市バス(北3号系統)または京都バスで京都産大前下車

□主 催□

京都産業大学 総合生命科学部



事前申込不要・入場無料